

## 評価結果情報



### 受審事業所基本情報

事業所名称	アトリオとねやま保育園
運営法人名称	社会福祉法人 神童福祉会
福祉サービスの種別	認可保育所
代表者名	理事長 北川 定行 園長 村野 光子
定員(利用人数)	90名(97名)
事業所所在地	〒560-0045 豊中市刀根山4-1-1
電話番号	06-6843-6000
FAX番号	06-6845-3406
ホームページアドレス	<a href="http://www.city.toyonaka.osaka.jp/top/kosodate/hoikusho/ichiran/minkan/atoriotoneyamahoikuen.html">http://www.city.toyonaka.osaka.jp/top/kosodate/hoikusho/ichiran/minkan/atoriotoneyamahoikuen.html</a>
電子メールアドレス	<a href="mailto:atorio@nifty.com">atorio@nifty.com</a>

### 評価機関情報

第三者評価機関名	大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター
大阪府認証番号	第270002号
評価実施期間	平成21年11月25日～平成22年2月19日
評価決定年月日	平成22年2月19日
評価調査者氏名(役割)	0501C051(運営管理委員) 0501C052(専門職委員)

## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

総合コメント	<p>平成19年4月1日に豊中市より「公立刀根山保育所」の移管を受けたアトリオとねやま保育園は、蛍池の一部を埋め立て地として建設された築40年という建物の歴史をもつ保育園です。豊中市の基本方針「障害児保育・同和保育・人権保育」を保育方針として継承し、日々の保育において取り組んでいます。</p> <p>法人理事長をはじめ、園長、事務長のリーダーシップのもと、移管後3年目にあたる21年度に、これまでの振り返りを踏まえ、保育サービスの質向上、職員の資質向上、保護者満足度の向上を図るために第三者評価に取り組みました。</p> <p>保護者・地域に根ざした保育園を目指し、前向きに取り組む姿勢が印象的であり、今後更なる発展が期待される保育園です。</p>
特に評価の高い点	<p>豊中市の保育方針「障害児保育・同和保育・人権保育」を継承し、日々の保育において取り組む中で、特に、豊かな人権感覚の育成をテーマに保護者、地域、職員集団を含め育ち合いの環境づくりに努めています。</p> <p>地域活動事業では園庭開放や蛍池図書館事業への出前保育、親子交流、校区小学校からの生活科学習の受け入れなど、地域に向けた取り組みを積極的に展開しています。</p> <p>広い園庭には積極的に菜園を作るなど、子どもたちが自然にふれることができる環境づくりが実践されています。</p>
改善を求められる点	<p>今後は保育園の理念や基本方針の実現に向けて、実施するサービスの内容、人材育成、組織体制や設備面等の課題を踏まえた中長期計画を組織的に策定することが求められます。豊中市からの移管を受けてまだ3年目ということもあり、サービス内容について定期的な評価を行う仕組みが整備されていませんが、今回の第三者評価で明らかになった課題をもとに、今後更なる保育サービスの質向上や改善のために体制を整備することが望まれます。</p> <p>なお、組織的な事業を進めるためにも、各種保育の計画は保育園の目指す保育を全職員の共通認識を図り、PDCA(計画、実践、評価、改善)サイクルのもと組織的に策定することが望まれます。</p>

### 第三者評価に対する事業者のコメント

事業者のコメント	<p>評価を受けた内容については、職員会議において報告、検討し、改善できるところは翌日より実施しております。その他、課題に関しては次年度の事業計画に盛り込み、1つずつクリアしていく取り組みを進めています。</p> <p>今後も、保護者、地域、また職員からの意見を取り入れ、保育園の理念の実現に向けて全職員が一丸となって日々保育サービスに努めていきます。</p>
----------	--

## 評価細目 サービス内容基準(付加基準)について



事業所名称

アトリオとねやま保育園

### 子どもの発達援助について

判断基準項目	評価結果
保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	b
登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	b
子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	b
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	a
さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	b
遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	非該当
長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

### 評価機関コメント

新保育所保育指針の改定に伴い「保育課程」が策定されています。  
保育環境については、施設の老朽化に対して部分的な改修を少しずつ行うなど、改善への工夫が見られます。  
広々とした園庭には、園長が自ら野菜を栽培したり、季節ごとの自然物を保育に取り入れるなど、自然を生かした取り組みが実践されています。保育の内容においては、園長のリーダーシップのもと、アトリオとねやま保育園が3年間に積み重ねてきたことを踏まえて、今後更なる職員の質の向上に向けた組織づくりを目指しています。  
今後も様々な研修を重ね、保育実践の評価を保育に生かしていけることが期待されます。

### 子育て支援について

判断基準項目	評価結果
一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報は速やかに所長まで届く体制になっている。	a
虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
民間移管後、保護者や地域の理解を得ながら保育園行事の見直しを行い、アトリオとねやま保育園の保育行事の展開が徐々に進められています。 子育て支援に向けた地域への取り組みが進められています。今後は更に、積極的な情報発信により子育て支援が幅広く地域に届き、発掘したニーズから求められる活動に繋がることが期待されます。	

### 安全・事故防止について

判断基準項目	評価結果
調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	b
食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	c
事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a
事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b
不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b
<b>評価機関コメント</b>	
衛生管理に関する検討会は、管理栄養士、主任、事務長のメンバーにより実施しています。今後は検討会で検討された内容について会議録に残すことが望まれます。また、豊中市の安全・事故防止のマニュアルを基に、食中毒対応マニュアルの策定が求められます。 事故報告書やヒヤリ・ハットの事例について職員間で共有するとともに、職員会議での報告などから発生要因を検証し事故防止の対策に繋がっています。	

### 子どもの発達・生活援助について

判断基準項目	評価結果
体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	b
<b>評価機関コメント</b>	
豊中市人権保育の基本方針に基づき人権保育を継承し、体罰等不適切な対応が行われないよう研修を行っています。今後は体罰の禁止について規程等への明記が望まれます。	

## 評価細目 福祉サービスの 基本方針と組織について



事業所名称	アトリオとねやま保育園
-------	-------------

### 理念・基本方針について

判断基準項目	評価結果
理念が明文化されている。	a
理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
理念や基本方針が職員に周知されている。	a
理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
<b>評価機関コメント</b>	
<p>保育園の理念・基本方針が明文化され、保育園の目指す方向が読み取れます。また、職員にはアトリオとねやま保育園の概要を示した「要覧」を配布し、保育園の基本理念と保育目標について周知しています。利用者には入園時や施設見学时に保育園のしおり等で説明しています。その他、園庭開放や一時保育利用者に保育園のしおりを渡すなど、広く周知に努めています。</p>	

### 計画の策定について

判断基準項目	評価結果
中・長期計画が策定されている。	c
中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c
計画の策定が組織的に行われている。	c
計画が職員や利用者等に周知されている。	b
<b>評価機関コメント</b>	
<p>民営化3年目ということもあり、単年度の事業計画は策定されていますが、中長期計画は策定されていません。今後は保育園の理念や基本方針の実現に向けて、実施するサービスの内容、人材育成、組織体制や設備面等の課題を踏まえた中長期計画を組織的に策定することが求められます。</p> <p>また、単年度の事業計画を職員や利用者にも分かりやすく説明することが望まれます。</p>	

### 管理者の責任とリーダーシップについて

判断基準項目	評価結果
管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a
経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a
<b>評価機関コメント</b>	
<p>経験豊富な管理者の積極的なリーダーシップにより、民間移管後の保育・職員集団の構築に精力的に取り組んでいます。</p> <p>経営や業務の効率化と改善に向けては、理事長、事務長と相談・連携しながら進めており、職員には水道・光熱費等のコスト削減を呼びかけ、意識向上に努めています。</p>	

## 評価細目 組織の運営管理について



事業所名称

アトリオとねやま保育園

### 経営状況の把握について

判断基準項目	評価結果
事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	b
外部監査が実施されている。	a
評価機関コメント	
<p>豊中市、刀根山地区の会合等に参加し、保育園を取り巻く環境について情報を収集しています。待機児童のデータを毎月把握し、待機児童の解消に向けて環境整備に伴う0歳児の受け入れや、1歳児の定員増加、一時保育の拡充について計画しています。</p> <p>外部監査を実施し、経営の分析及び運営状況の透明化に努めています。</p>	

### 人材の確保・養成について

判断基準項目	評価結果
必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	b
職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
個別の職員に対して、組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	a
実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。	a
評価機関コメント	
<p>人事考課については、自己点検表を用いて職員が自己点検を行い、点検表を基に園長と面談を行っています。今後は自己点検に対する評価を職員へフィードバックすることが望まれます。</p> <p>初任、中級、上級に求められる研修について明文化し、それに基づいて研修計画を策定し、研修後は報告レポートや職員会議にて職員全体に周知しています。今後は研修成果について評価・分析した結果を基に、研修内容やカリキュラムの見直しを行うことが望まれます。</p> <p>実習生受け入れについては、その意義や方針を職員に伝え、受け入れが行われ、受け入れ手順や方法を定めたマニュアルが整備されるとともに、実習生個別のデイリープログラムが用意されています。</p> <p>職員の資質の向上に向けて日々努力されていますので、今後さらなる職員の組織力と資質の向上に期待します。</p>	

### 安全管理について

判断基準項目	評価結果
緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a
評価機関コメント	
<p>事故発生対応マニュアルや感染症対応マニュアルが作成され、会議等で職員への周知を図っています。また、マニュアルの見直しも行っています。発生した事故などの事例については、職員会議の際に概要や対応などが十分に説明され、再発防止に向けて職員間で問題が共有化されています。</p>	

### 地域との交流と連携について

判断基準項目	評価結果
利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
事業所が有する機能を地域に還元している。	a
ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	a
必要な社会資源を明確にしている。	a
関係機関等との連携が適切に行われている。	a
地域の福祉ニーズを把握している。	a
地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
評価機関コメント	
<p>事務長自らが地域コーディネーターであることから、地域・民生委員・児童委員・学校等との幅広い連携が図られています。地域主催の行事にも園児・職員が参加する機会があります。中高生の保育体験も受け入れています。「児童虐待防止ネットワーク会議」に参加し、ネットワーク内で情報を共有し、問題解決に向けて具体的に取り組んでいます。</p> <p>地域子育てサークル「よちよち」「ぴよぴよ」などの活動を通して保育園の機能を地域に還元し、地域との交流を図るとともに、活動に参加した保護者からの相談にも応じています。</p>	



## 評価細目 適切な福祉サービスの実施について



事業所名称

アトリオとねやま保育園

### 利用者本位の福祉サービスについて

判断基準項目	評価結果
利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備している。	a
利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a
利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a
利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。	a
利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	c
<b>評価機関コメント</b>	
<p>保育園のしおりや職員の要覧にある「アトリオ(中庭)で共に育つ子ども・おとな・地域のなかま」のキャッチフレーズなどから、子ども一人ひとりを尊重した姿勢が読み取れます。</p> <p>保護者アンケート(意向調査)が毎年実施され、アンケート結果については分析を行うとともに、全家庭に配布しています。また、個人懇談やクラス懇談を定期的に行い、保護者の意向把握に努めています。</p> <p>苦情解決の体制を整備し、苦情への検討内容や対応策を保護者にフィードバックしています。</p> <p>保護者から意見や提案を受けた際の対応手順等を定めたマニュアルは未整備ですが、日頃から園長が中心となって意見や提案等に迅速に対応し、改善に向けて取り組んでいます。</p>	

### サービスの質の確保について

判断基準項目	評価結果
サービス内容について、定期的に評価を行う体制を整備している。	a
評価の結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b
課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	c
個々のサービスについて、標準的な実施方法が文書化され、サービスが提供されている。	c
標準的な実施方法について、見直しをする仕組みが確立している。	c
利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している。	a
<b>評価機関コメント</b>	
<p>今回の第三者評価受審を機に、保育園全体の自己評価を行いました。今後は評価結果から明らかとなった保育園の課題について再確認し、職員全体の共通認識のもと課題解決に向けた改善策が組織的に策定されることが望まれます。</p>	

保育場面における標準的な実施方法(保育マニュアル)については、豊中市の保育を継承するという方針から豊中市既存のマニュアルを使用していますが、今後は見直しを機に園独自のマニュアル作成を進めていくことが求められます。

子どもの記録は保育園で定めた様式にしたがって記録を行っています。また、文書管理に関する規程を定め、管理体制が整備されています。

子どもの状況等については職員会議、給食会議、アレルギー児に関するミーティング等、部門を横断した会議において情報共有がなされています。

### サービスの開始・継続について

判断基準項目	評価結果
利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。	a
事業所の変更や家族への移行などにあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント	
<p>保育園のしおりで園の必要な情報を提供しています。保育に必要な費用の徴収等についても分かりやすく説明し、保護者の同意を得ています。</p> <p>保育終了後も園長が中心となって保護者からの相談に応じています。</p> <p>転園時には、保育園から転園先に口頭で引継ぎが行われていますので、今後は文書を定めて引き継ぎを行うことが期待されます。</p>	

### サービス実施計画の策定について

判断基準項目	評価結果
定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
サービス実施計画を適切に策定している。	b
定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント	
<p>定められた手順に従ってアセスメントを行い、保育園で定めた様式に記録しています。指導計画(サービス実施計画)は担当ごとに策定されていますので、一人ひとりの子どもの入園から卒園まで一貫した内容の計画につなげるため、今後は部門を横断した関係職員の合議のもとに策定することが望まれます。</p> <p>指導計画(サービス実施計画)どおりにサービスが行われているかどうか確認する仕組み(PDCAサイクル)を組織の中に構築し、保育の質の向上に向けて恒常的に取り組むことが望まれます。</p>	

# 利用者調査結果



事業所名称	アトリオとねやま保育園
-------	-------------

## 利用者(保護者)への調査結果

判断基準項目	
調査対象者	アトリオとねやま保育園を利用中の保護者
調査対象者数	81世帯
調査方法	アンケート調査
利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)	
<p>アトリオとねやま保育園を現在利用している保護者81世帯を対象に調査を行いました。送迎の時間を利用して保育園から調査票を配布してもらい、回収は評価機関へ直接郵送する形をとり、51世帯から回答がありました。(回答率63.0%)</p> <p>特に満足度の高い項目として「献立表やサンプル表示などで、毎日給食の内容がわかるようになっている」「日常的な情報交換に加え、別の機会を設けて相談に応じたり、個別面接などを行ったりしている」「懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がある」「健康診断の結果について園から伝えられている」が90%を超える満足度となっています。</p>	